

科目名	地域・公衆衛生看護学特殊研究		分野・必選別・ 単位数	専門科目 (地域・公衆衛生看護学)	選択必修	10単位
担当教員	◎教授 山崎恭子 准教授 遠藤寛子				科目ナンバー	T2C218
課程	博士後期	配当年次	2年～3年	配当学期	通年	授業方法 演習
授業の概要	地域・公衆衛生看護学上の自己の課題について研究的に取り組み、博士論文を作成する。文献検討、計画書の作成、倫理委員会の申請書作成、研究フィールドの開拓、データ収集・分析、中間報告、論文作成の一連のステップを踏むことにより、研究能力を高める。					
授業の到達目標	①研究課題の目的、方法を明確にすることができる。 ②研究目的、方法に応じた研究フィールドを開拓することができる。 ③研究計画の作成と倫理委員会申請書を作成することができる。 ④研究データの収集と分析ができる。 ⑤論文を作成できる。					
授業計画	回数	担当者	行動目標			
	<p>【第1回】科目概説</p> <p>【第2回～】看護研究のプロセスを踏み、博士論文を作成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究プロセスの確認 ・研究課題の明確化 ・研究方法の検討 ・研究フィールドの開拓 ・研究計画書の作成 ・倫理委員会申請書の作成 ・データ収集と分析 ・中間報告 ・論文作成 					
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。				
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、関連する文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。				
	【必要時間】	当該期間に150時間以上の予復習が必要。				
教科書	院生のテーマに沿った文献・資料を収集する。					
参考書	院生のテーマに沿った文献・資料を収集する。					
成績評価の方法および基準	計画書発表10%、中間報告10%、口頭試問80%で評価する。					
その他履修上の注意事項	履修前提条件:1年次に倫理教育「eLCoRE」を受講し、修了していること。試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。					